

休憩のおやつは冷えた西瓜で舌鼓、この上ない幸せを感じる



☆☆☆ 早いものです。もう、宿も今夜限りとなりました

この夜は神社に集まって『肝試し』が行われたのですが、僕は夕食後、ついウトウトして、肝試しをすっぼかしてしまった(^;)。

亥の刻（22時）に星空の観察会が有り、佐藤スタッフの下に10人程集まったものの、雲が邪魔をしてオジャン。

でも天の川をぜひ見たい大和なでしこの思いが叶い、泣く子も黙る丑三つ時（2時）、♀2と♂1が狩人星オリオン座を発見。

今見ているベテルギウス★は七百年前の状態。その内、大変化の天体現象が眺められるかも。

### 11・旧三省小学校のこと

夜が明ければ、この里山の集落にある旧三省小学校ともお別れ。大概が初めての経験だろうドミトリタイプ（合宿教習）のハウスなど、長らく頭に記憶させたく、ここにMemoっておこう。

1958年に建てられた校舎は過疎化が進み、1988年に閉校

古い航空写真には創立百周年の人文字が見え、歴史の深さを感じた

2006年・大地の芸術祭で宿泊体験できる施設に生まれ変わる

部屋名は地域の花の名前から、やまざくら・かたくり・しらねあおい・ゆきわりそう、など

廃校になると跡形も無くなりやすい物ながら、ここは募る想いで良い残し方に変えたものだと絶賛してしまう

設備は、いたれり尽くせり。新鮮な野菜に魚沼産こしひかりのおいしい米

痒いところに手が届くように、思いやりの行き届いた優しいスタッフの方々を感じる。



さらにラッキーだったのは、昨日まで見えなかった↑黒姫山(890m)が、三日目になってようやく姿を見せてくれたことであり、↑二階へのラウンジをあげるとその雄姿を眺められたことでした

学校のすぐ下に見える里山の風景は何とも懐かしさを抱かせるのどかな風景であり、すべてを残しておきたい宝物に見えました



空き家があちこちに見えて主なく、ひっそりと眠って余力が有るなら朽ち行く家を買って自適生活を楽しみたいものだ



## 12・最後の朝

もう4日目に

去り難く、離れがたいけれど

そうもいかない

今日の朝は

みんなで散歩から始まった

地元の相澤さんが案内役として、かつての高田街道や樺の葉っぱで笛を作って鳴らして見せる



いにしへの移り変わりを じっと見つめてきただろう 小谷白山神社の大杉と大ケヤキ  
いったい何を知り、何を語りかけるのか 再び訪れたいものの いつまた来られることか

「さようなら」

そう言いたくないけど、次の予定が待っている



三省ハウスを去るにあたって、スタッフや地元の方々は  
バスが見えなくなるまで、振り契ればかりに手を振ってくれた

嬉しかったよ 楽しかったよ おいしかったよ とても良かったよ また来たいよ  
こんな小さな日本なのにまたいつかと思うと、もう、言葉にならない(T\_T) m(\_ \_)m  
お互いに頑張りよう

### 13・農舞台

『コメをくう』と題して、山形県出身の森繁哉さんの舞踏の場へ。  
ほくほく街道から、ほくほく線まつだい駅前の「ふるさと会館（道の  
駅でもあった）」を過ぎると『古民家まつだい郷土資料館』が棚田の前に有った。

これは何ともすごい建物で、富裕農家・旧室岡家住宅をそ  
のまま移築したものという日本の伝統的住宅建築の粋であった。

近くには、2ページの写真で示した傑作のオブジェ類が棚  
田の中に沢山据えてあり、そして不思議なアートの世界の  
『まつだい雪国農耕文化村センター』がそこに有った

右写真は、駅から見たので電柱や電線が多かったのを→  
加工して、それらを取り除いたものである。



郷土資料館の内部 「スゲェ、スゲェ、(当然ながら) 我が家よりデッカイ！」



美しい棚田もやがては黄金色に →



#### 14・これで出発です

昼食も済み、「まつだい雪国農耕文化村センター」でお土産を買い込み、いよいよお別れです。米や野菜がおいしく、たくさんの暖かい人情や癒しをいただき、楽しい思い出をいただきました。バスに乗って振り返ると、ここでもスタッフの方々を始め、多くの地元の方々が、名残惜しい僕たちに去りがたい力いっぱいの手を振ってくださいました。

#### 15・終わりに

##### ★「白豪のお守り」

みんなで有りがたくいただいた貴重なお守りに「白豪のお守り」が有ります。それには次のように書いてありました。

『佛の眉間ミツに有って幸せの光を放ち願いを叶えるという白豪（ひゃくごう）をかたどり、復興の願いをこめて祈祷した「ダンゴ」を十日町織りのお守り袋に入れお届けします』

また、裏には下記のようにも記されておりこの度の東日本大震災の我々被災者として、なお一層の励みになりましたので、ここに、その全文を書き添えて、のちのちまで語り伝えて行きたいと思います。心のこもった内容に誠にもって感謝と感激です。



『被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

新潟県十日町市は近年三回の地震に遭遇してきました。

しかしこの度の東北の震災は、十日町地域の被害の比では無い大きな災害である事を承知しております。

十日町市は米と着物の産地です。

私たちは昔から、その米の粉でお団子を作り、祈祷していただいたものを、手作りの袋に入れ佛様の「白豪のお守り」として身に付けてきました。

被災地の皆様のこれからをお守り下さいますようにとの願いを込め、十日町市民の賛同者と共に作ったこのお守り袋をお届けさせていただきます。

(中のお団子は割れる程縁起が良いと言われています)

十日町市 心と心プロジェクト』

### ★松之山温泉・ナステビュー湯の山

越後妻有の林間学校に滞在中は、毎夕、日本三大薬湯の名泉と言われる『ナステビュー湯の山』に全員がバスで連れて行ってもらいました。

<http://yunoyama.jp/>

ナステビュー湯の山は、塩分が強いと言われますが、味が良くて泉質が良く、ほっこりと疲れが取れ、ゆったりと休めて、命の洗濯をした気分でした。

### ★ぶなはりたけ

当地は里山に開けるブナ林・美人林があるところ。実はブナはり茸が食卓に現れることを、ひそかな楽しみにしていました。

昔、社内の後輩からいただいたあの美味しい味が忘れなく、当地の特産物になっているのではと思っていましたが、美人林に見る通り、生き生きとした活力のあるブナ林。朽ちたブナに生えるブナハリタケは無いのが当然かも。

### ★お

「お」は、からむしのことと地元の相澤さん。

僕が歴史を学ぶ上でたびたび出てくるカラムシとはどんなものかと興味を持っていました。

ちょっと紫陽花に似た葉っぱをしているようでしたが、出来れば根を分けてもらい、栽培してみたいと思うのですが、さてどうしたら手に入れられるのでしょうか

### ★尾見さん

旧真田小の「絵本と木の実美術館」を訪ねたとき、ここは尾見さんという名字の方ばかりと聞き、そういえば昔、仙台から会津若松の婿さんになった先輩に、尾見さんというかたが居たことを思い出し、もしかすると元々はこちらの出身かもと思ったりしました

### ★野菜やこしひかりのご飯は格別なおいしさ

他には、ねぎ、雪の下ニンジンなど、おいしいものが沢山ある町でした

### ★もうなかないで、幸せのコウノトリ

本来なら、幸せを謳歌するコウノトリ

東日本大震災では多くの人たちが亡くなりました

地震はもう起きないで欲しいという願いから、

もうなかないで欲しいけど、地震が来たら知らせて欲しい

と、誰でも作れるコウノトリを、思いつきで作ったものです。



材料はクリーニングなどで付いてくる針金ハンガーを曲げ、風鈴を取り付け、上下から適度な張力を持たせると、震度3以上でチリンチリン鳴ってくれますおもちゃですがご愛嬌で・・・

### ★今回参加した仙台の方々は口々にまた行ってみたいと帰りのバスで花が咲いていました

それだけ、良い思い出ばかりが残っているのです。11月には「ぜひに・・・」と言っていました。

その節はどうかよろしく面倒を見てやって下さい

★越後妻有の林間学校・三省ハウスの住所  
〒942-1402 新潟県十日町市松之山小谷 327  
<http://www.tsumari-artfield.com/sansyo/>

★製作・著作：不許、複製

宮城県仙台市  
佐久間 榮一

END・110911